

回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

（要望項目）

5-1(3) 廃棄物処理について

④食品廃棄物削減の取り組み強化とフードバンクの取り組みにむけて

日本の食品廃棄物の排出量は、年間約 1900 万トン排出されており、この中には本来食べられるにも関わらず捨てられている「食品ロス」が約 500～900 万トン含まれていると推計されている。食品・食材を無駄なく使うために、食品ロスの削減に向けた取り組み強化を行うとともに、「フードバンク」等のネットワークを構築すること。

（回答）

国において、食品廃棄物の削減を目的に、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）が平成 13 年に施行され、食品関連事業者による食品廃棄物の発生抑制、減量化、再生利用を促進する措置が講じられています。平成 19 年には同法の改正が行われ、食品関連事業者に対する指導監督の強化等が行われました。大阪府としましては、食品廃棄物削減を目指した、こうした国等の動向について、今後も注視してまいります。

食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する「フードバンク」活動が、NPO 法人などにより関西でも展開されています。大阪府としましては、こうしたフードバンク活動が、食品廃棄物の発生抑制にも有効であることから、その活動を注視してまいります。

（回答部局課名）

環境農林水産部 環境農林水産総務課